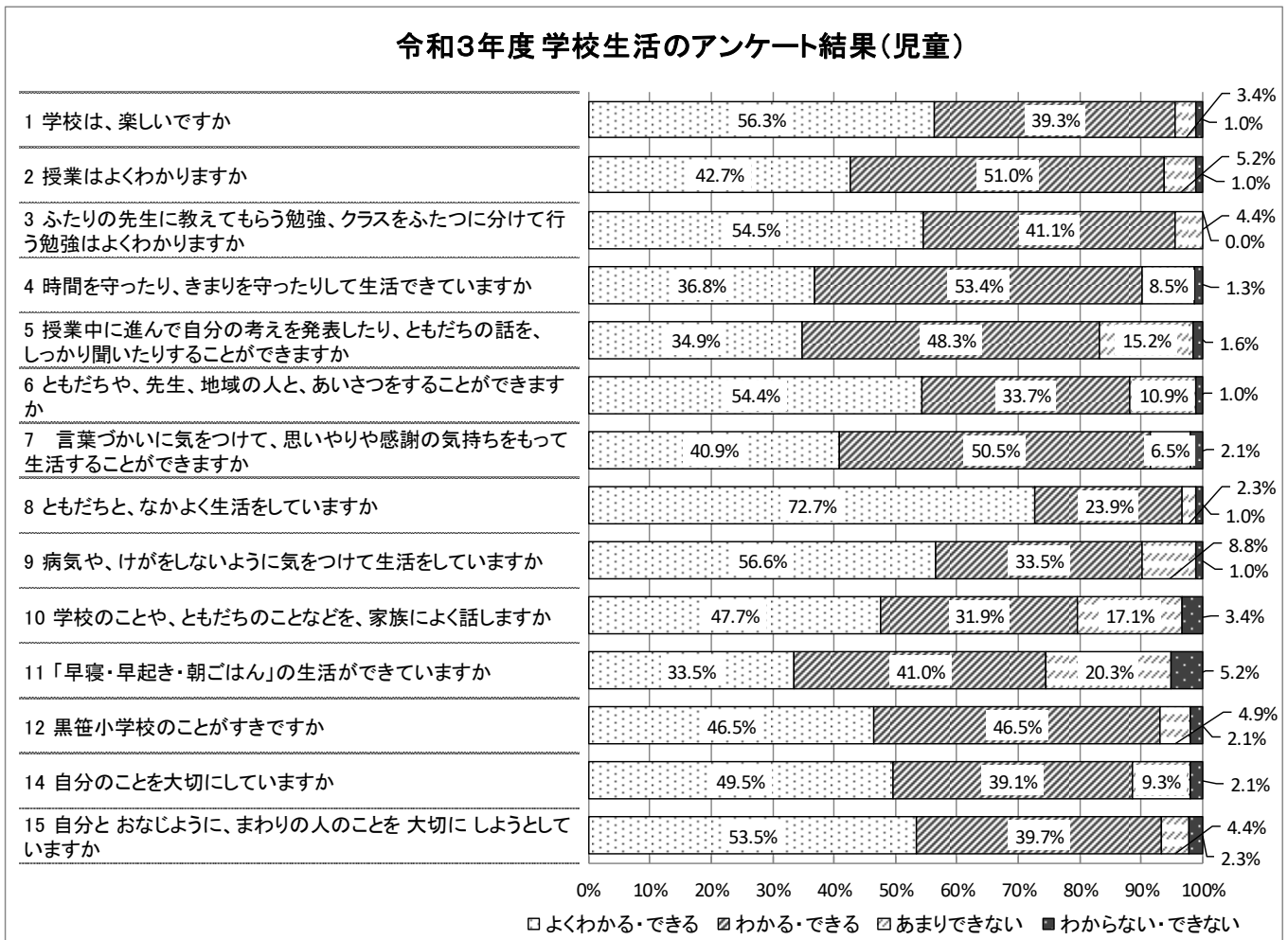


# 令和3年度学校評価アンケートの結果について

みよし市立黒笹小学校

学校評価アンケートは、本校の教育活動を振り返り、子どもたちの学習活動や生活習慣など家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちがより良い生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すものです。次のとおり、今年度のアンケート結果をお知らせいたします。ご意見・ご感想については、いつでも学校にお寄せいただければ幸いです。

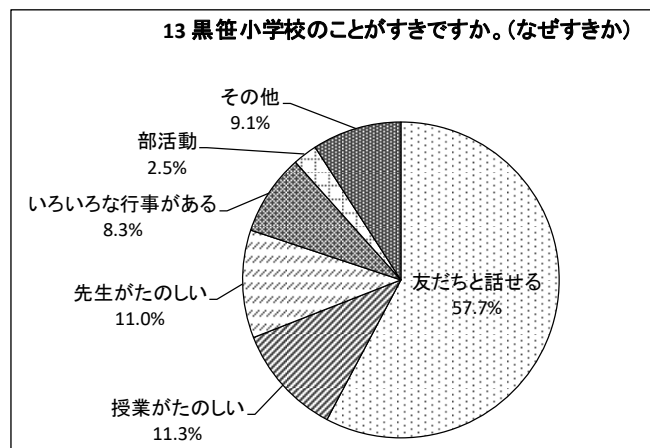
## 1 児童自己評価アンケートより



○「問1：学校は楽しい（95.6%）、問8：友達と仲良く生活をしている（96.6%）」と答えている子どもが多い。

○学校が好きな理由は、「友達と話せる（57.7%）」と答えている子どもが多い。

子どもたちにとって友達との関わりがとても大切なことだと分かります。マスクの着用、距離を取っての学校生活が続きますが、みよし市教育委員会から示される感染レベルを基に、子どもたち同士の関わりを大切にしたい教育活動を進めてまいります。



○「問2：授業がよく分かる（93.7%）、問3：二人の先生に教えてもらう勉強はよく分かる（95.6%）」と答えている子どもが多い。

来年度以降も、多くの学年において複数の教員で指導する授業時間を確保し、基礎的な学習が定着できるように指導・支援していきます。また、学校が好きな理由の2番目は「授業が楽しい」でした。今後も、学ぶ楽しさ・学ぶ喜び・学ぶ大切さが味わえる子ども主体の授業づくりに努めます。

▽「問5：自分の考えを発表したり、友達の話をしっかり聞いたりすることができる」

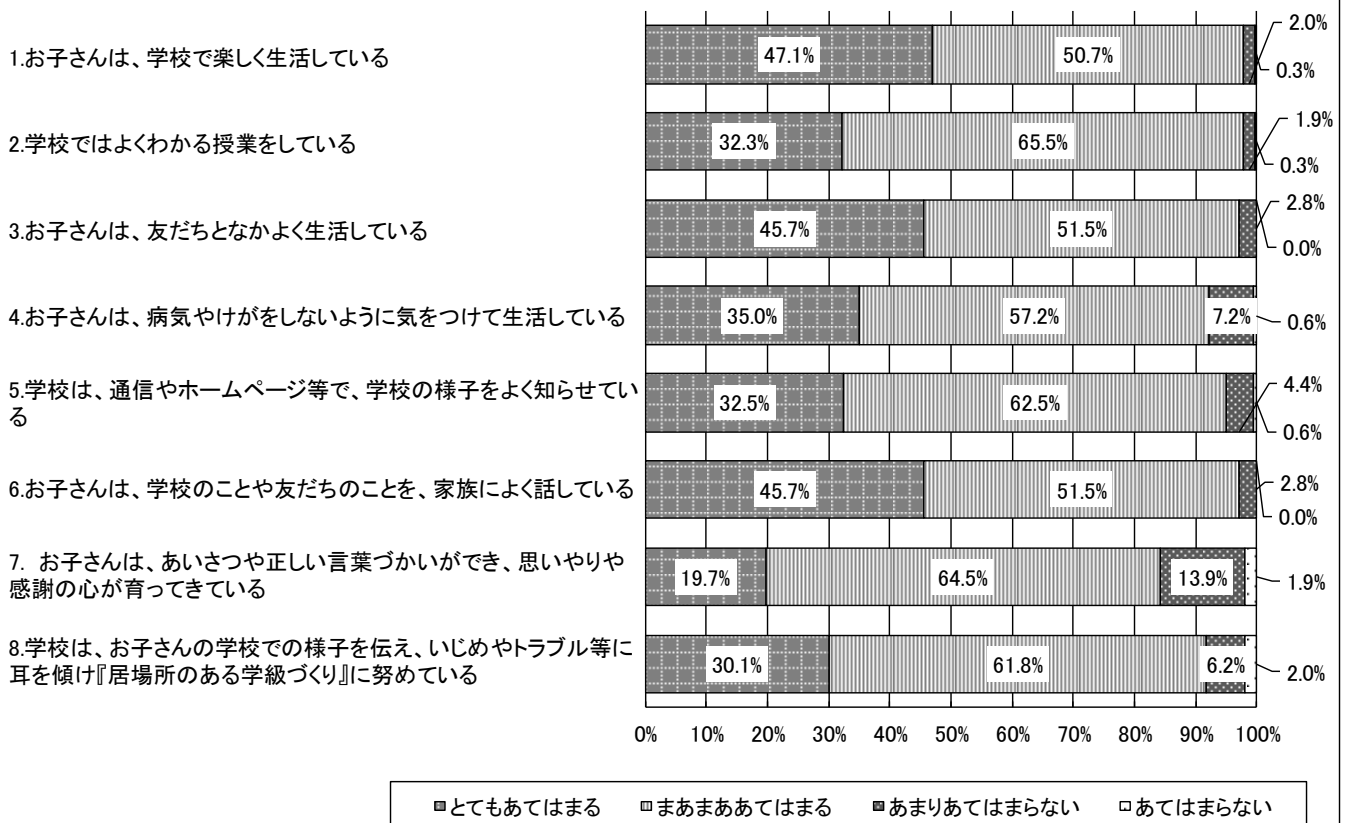
「問10：学校のことや友達のことを家族によく話す」「問11：早寝・早起き・朝ごはんの生活ができている」に対しての子どもたちの評価は、他の項目に比べてやや低い。

一人一人の思いを大切に、聴き合い、考え合う中で、自らの思いを伝えることができる子どもをめざして日々の授業に取り組んでいますが、まだまだ十分ではありません。今後も、仲間の考えを自分と比べながらよく聴き、考えを再構築したり意見を交わし合ったりすることで、互いに学び合うことができるよう研鑽してまいります。生活習慣の確立につきましては、ご家庭のご協力がなくては改善できません。引き続きのご協力をお願いいたします。

裏面もご覧ください。

## 2 保護者アンケートより

### 令和3年度 学校評価のアンケート結果(保護者)



○どの問に対しても、高い評価をいただいています。特に次の5つの項目に対しては、高い評価をいただいています。

問1 「お子さんは学校で楽しく生活している。」(97.8%)

問2 「学校ではよく分かる授業をしている。」(97.8%)

問3 「お子さんは友達と仲良く生活している。」(97.2%)

問5 「学校は、通信やホームページ等で、学校の様子をよく知らせている。」  
(95.0%)

問6 「お子さんは、学校のことや友達のことを、家族によく話している。」  
(97.2%)

学校が楽しい場所であるためには、家庭での働きかけがあってこそです。今後も、保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校が子どもたちにとって楽しく友達と磨き合える場所であること、一人一人の居場所のある学級づくりを目指して取り組んでまいります。

また、今年度も感染症対策のため、授業参観等で保護者の方に学校に来ていただく機会を減らさなければなりません。今後も、状況に応じて参観の機会や時間を縮小せざるを得ない状況が起きるかもしれません。行事等の変更につきましては、速やかに状況をお伝えし、共通理解を図れるよう心がけてまいります。

▽次の項目については、他の質問と比べ「あまりあてはまらない」や「あてはまらない」と答えている方がやや多い。

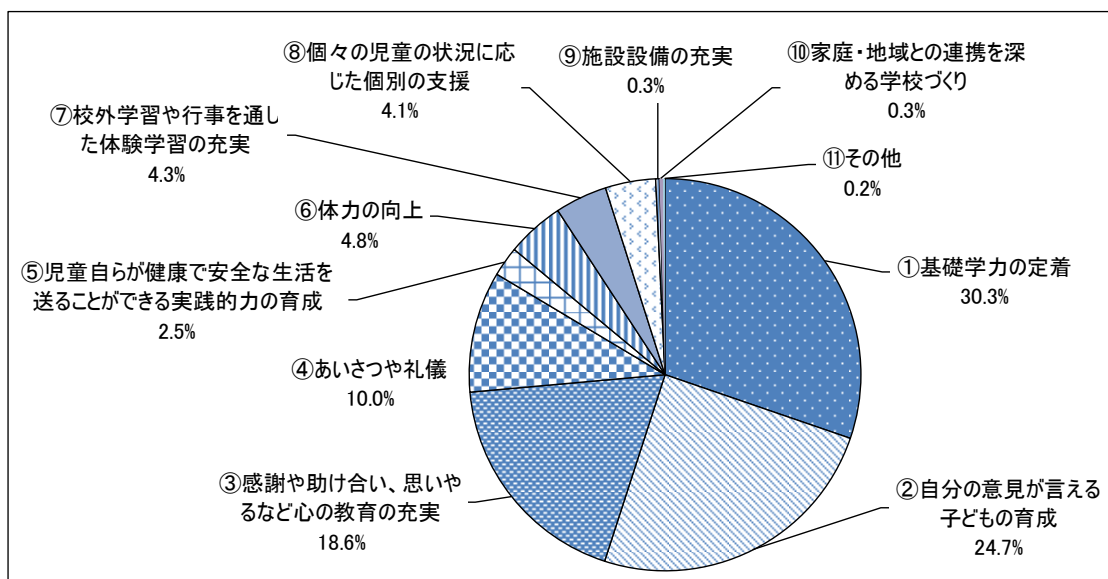
問7「お子さんはあいさつや正しい言葉遣いができ、思いやりや感謝の心が育ってきている。」(84.2%)

問8「学校は、お子さんの学校での様子をよく伝え、いじめやトラブル等に耳を傾け『居場所のある学級づくり』に努めている」(91.9%)

児童アンケートの結果でも、「あいさつ」(88.1%)、「言葉遣い・思いやり」(91.4%)と、ほぼ同様の傾向でした。何をどうすることが相手を思いやったり感謝の気持ちを表したりすることになるのか、私たち教職員も範を示しながら、子どもたちと接してまいります。また、どの子にとっても学級・学校が安心して過ごせる場所であるよう、いじめは許されることでないことを毅然とした態度で指導し、自他を尊重する風土づくりに邁進してまいります。

○今後の黒笹小学校に力を入れて取り組んでほしいと希望していることは、次の順でした。

- ① 基礎学力の定着 (30.3%)
- ② 自分の意見が言える子どもの育成 (24.7%)
- ③ 感謝や助け合い、人を思いやるなど心の教育の充実 (18.6%)



この順番はここ数年と同様の傾向ですが、昨年度と大きく違うのは、「自分の意見が言える子どもの育成」の割合が2.2ポイント、「感謝や助け合い、思いやるなど心の教育の充実」の割合が1.3ポイント増えたことです。基礎学力の定着はもちろん、子どもたちの主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくり、心の教育の充実を図る教育活動を推進してまいります。

本校の教育目標は、「よく学び 心豊かに たくましく 未来を切り拓く黒笹っ子の育成」です。今後もこの教育目標の実現に向け、職員一同努力してまいります。

これからも、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを守り、育てていきたいと思っております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。